

ちくぜん

第87号

2025.5.1

社会福祉協議会だより



❖「筑前町を良くする助成金」を活用して地域の支えあい広がっています♪❖



朝日西区居場所づくり



くりた 結の会



どんぶり 楽堂



組蔵倶楽部

(関連記事 4ページ)

もくじ

令和7年度事業計画(抜粋)・予算	2～3ページ
募集	4～5ページ
報告・お知らせ	6～7ページ
支えあいだより	8ページ

発行編集／社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

〒838-0215 朝倉郡筑前町篠隈373 コスモスプラザ福祉館内 ☎0946-42-4555 FAX0946-42-5941
メールアドレス daihyou@chikuzen-shakyo.or.jp ホームページ <https://www.chikuzen-shakyo.or.jp/>

令和7年度

筑前町社会福祉協議会事業計画書(抜粋)

I. 令和7年度の方針

昨今の社会情勢は、コロナ禍の影響や物価高騰等の影響もあり生活困窮、人と人とのつながりの希薄化や支え合いの仕組みが弱まっている中、地域住民が抱える生活課題は一層複雑・多様化しています。

このような中、令和6年度は、様々な関係機関、町民(団体)等と一緒に、地域福祉の新たな活動拠点を構築することができました。

本年度も様々な人(団体)との「出会い、つながり」を通じて地域生活課題の解決、地域福祉活動の推進に努めます。

近年は災害が頻発し、被害の激甚化、広域化から災害ボランティアセンターの平常時からの取り組みが必要不可欠と捉え、町、各関係機関、団体等と連携した訓練を実施します。

社会福祉協議会(以下、「社協」という。)が中心となり、地域住民の立場から地域福祉を推進する行動計画「地域福祉活動計画」が5カ年計画の最終年度を迎えます。これを機にこれまでの活動を振り返り、「第2次地域福祉活動計画」の策定を町と連携し取り組みます。

II. 重点施策

1. 法人運営事業の体制基盤整備
職員が業務に「目標」と「やりがい」をもって取り組めるように、研修等へ積極的に参加し、スキルの向上と他社協との連携強化に努めます。

2. 地域福祉活動計画の実現と第2次地域福祉活動計画の策定
第2次地域福祉活動計画の策定に向けて、第1次地域福祉活動計画の課題と成果を抽出し、その分析から町の地域福祉計画と一体となった活動計画の策定に取り組みます。

3. 地域生活課題の解決、地域福祉活動の推進
生活困窮相談支援事業や生活支援コーディネート事業でのアンケート結果から活動方針を定め取り組みます。

4. 地域福祉活動、ボランティア活動の担い手の発掘及び養成
町民へ地域福祉活動の理解と重要性を伝え、誰もが役割をもって主体的に活動へ参加できる仕組みづくりを進めます。

5. 共同募金配分金事業の継続的見直しと事業の実施
共同募金寄付額の減少による共同募金配分金の減少を受け、より町民への理解と地域が必要とする共同募金配分事業の活用を模索し、変化させていきます。

III. 事業計画

1. 法人運営
社協は、民間組織として住民参加による運営が求められています。理事会、評議員会の開催をはじめ、住民のニーズが反映できる組織体制の強化を目指し、公共性の高い民間組織となるよう効率化・適正化を図るとともに、事業運営の透明性の向上に努めます。

- 法人運営事業
- 組織運営及び機能強化
- 役職員の資質の向上
- 事務局体制の整備
- 広報活動の推進
- 広報紙発行(年4回)
- 町発行広報紙「広報ちくぜん」及び町公式LINEによる情報発信
- ホームページの更新

2. 社会福祉事業

- 独自事業
- 心配ごと相談
- 受託事業
- いきいきサロン
- 放課後児童健全育成
- 障害者相談支援
- 障害支援区分認定調査
- 手話・要約筆記奉仕員派遣
- 在宅介護者リフレッシュ
- 生活福祉資金貸付
- 日常生活自立支援
- ボランティアセンター運営
- 生活支援コーディネート
- 共同募金配分金事業
- 高齢者福祉事業
- 高齢者のつどい「縁俱樂部」
- 小物づくり講座
- 敬老の日祝い事業
- いきいきサロン応援隊育成
- オシニクラブ連合会への助成金配分及び活動支援
- 遺族会への助成金配分及び活動支援
- 障がい者福祉事業
- 障がい者のつどい
- 福祉用具の貸与
- コミュニケーション講座(仮称)
- 工楽しく学ぶ手話体験講座
- 身体障がい者福祉協会への助成金配分及び活動支援
- 障がい者小規模作業所への助成金配分

③ 児童・青少年福祉事業

ア 小学生の福祉教育の推進
イ 福祉協力校への助成金配分
ウ 福祉教育用具の貸与

④ その他の福祉事業

ア 福祉育成

・バス停の管理(全14カ所)

・レクリエーション用具の貸与

イ ボランティア活動

・ボランティア連絡協議会への

助成金配分及び活動支援

・筑前町を良くする助成金

・筑前町地域福祉活動

・スタートアップ応援助成金

・つどいの場運営助成金

ウ 担い手講座

・工防災・災害時支援事業

・地域向け災害ボランティアセ

ンター設置・運営訓練の実施

・災害ボランティア活動者に対

する保険の助成

3. その他

(1) 社会福祉法人連絡会

① 社会福祉法人連絡会(施設長会)

② サポーター部会

(2) まちづくり出前講座

① 介護予防のためにできること

② レクリエーション用具で遊ぼう!

③ はじめてみよう! ボランティア活動

④ 体験してみよう!! 身近な「ふくし」

⑤ 赤い羽根共同募金のこと

(3) 災害ボランティアセンターの設置・

運営に関する協定書の見直し

(4) 災害ボランティアセンター設置・

運営マニュアルの改訂

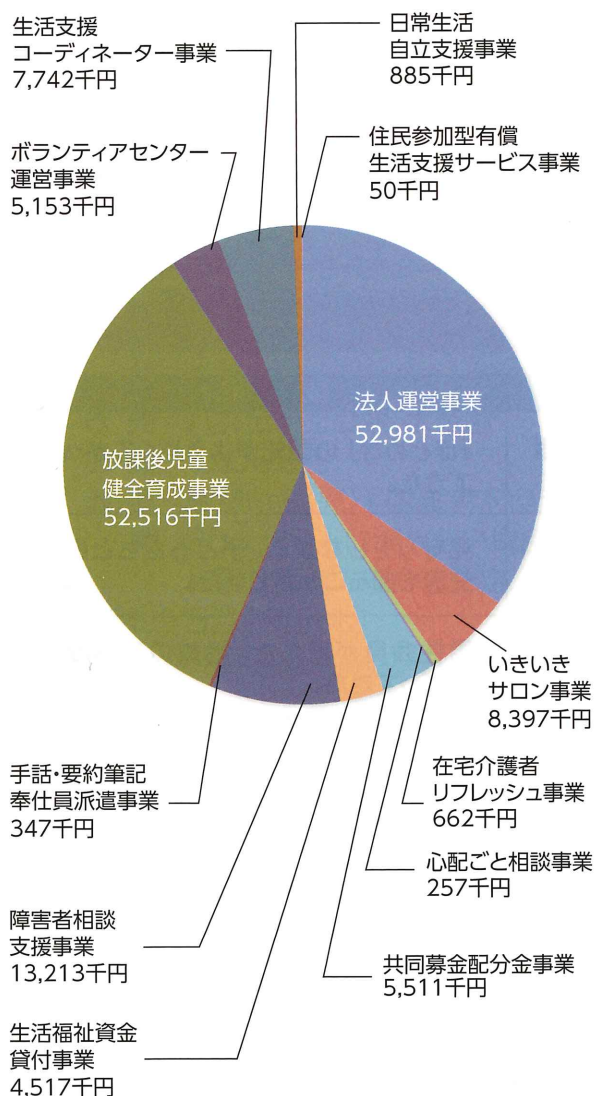
(5) 高齢者スマホ普及事業

(生涯学習課共催)

令和7年度 筑前町社会福祉協議会予算

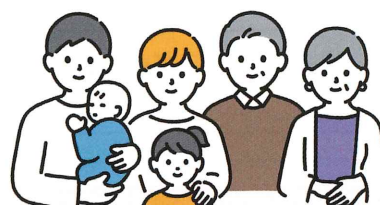
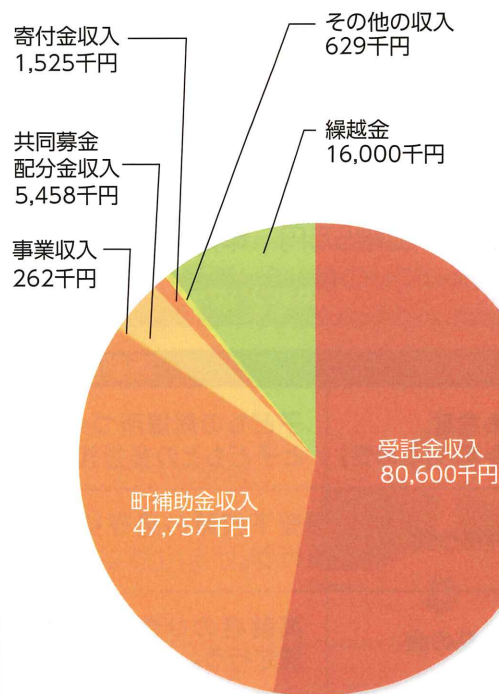
支出の部

152,231千円



収入の部

152,231千円



※詳細は、ホームページに掲載し、社会福祉協議会窓口に設置しています。

募集

共同募金配分金事業

筑前町地域福祉活動スタートアップ応援助成金

新しく地域福祉活動をはじめる団体・グループを応援します！

赤い羽根共同募金を活用して、これから町内で地域福祉活動を始めたい団体・グループを応援する助成金事業です。新たに子ども食堂や地域食堂、居場所やつどいの場、ボランティア団体(子育て、防災、地域、環境、高齢者、障がい児者等)の立ち上げなど、地域のみなさんの「やってみたい!」をカタチにするための助成金です。「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて活用してみませんか。

助成金額 上限2万円 申込締切 6月30日(月)



令和6年度 活動内容と成果

団体名	活動内容	成 果
「となりのササエさん」 (ボランティア団体)	行事等での子どもの見守り活動	子どもたちが楽しく安心して過ごせ、地域のひとと世代を超え新しい出会いがあり、いい経験ができた。

募集

共同募金配分金事業

筑前町を良くする助成金

住民主体の取り組みを応援します

社協では、だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進める取り組みに対して、赤い羽根共同募金の配分金を活用して助成します。

助成金額 上限5万円 申込締切 6月30日(月)



令和6年度 活動内容と成果

団体名	活動内容	成 果
子ども食堂 食・遊・和「ほとめき」	子どもの居場所づくりを行う。高齢者と子どもとの多世代交流を図る。	「ほとめき」の認知がようやく広がってきた。
たすけあう会	登下校時の見守り・安全サポートを行う。	見守りをしながら、子どもたちとの交流を図ることができた。
くりた 結の会	高齢者のひきこもりを防ぐため、交流を行う。	男性会員が増えた。地域の理解が広がってきた。
どんぶり楽堂	調理、ワークショップ等を通して、子どもの居場所づくりをする。	参加者同士でのつながりの構築ができた。
朝日西区居場所 づくり	地域のつながりを深める。	会食やレクリエーション、創作を通して、交流ができた。
組蔵倶楽部	子どもが集うことができる場所を作ることで交流の機会を増やす。	子どもが様々な体験をできる第三の居場所となった。

※助成金を受けるには、必要書類の提出や条件があります。詳しくは社協までお問合せください。

New

募集

共同募金配分金事業

つどいの場運営助成金

赤い羽根共同募金を活用して、こどもから高齢者まで、すべての人を対象とし、地域での交流を目的としたつどいの場の運営を応援する助成金です。「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて活用してみませんか。

助成金額 上限2万円 申込締切 6月30日(月)



New

募集

共同募金配分金事業

「高齢者のつどい～縁倶楽部～」を開催します

65歳以上の人たちが集まり、運動やレクリエーション、その他いろいろなイベントを行う「縁倶楽部」が今年度より年3回始まります。

第1回は、体操、創作を行います。新たなツナガリを作り、みんなで楽しみましょう。

日 程 6月5日(木) 10時～14時

場 所 ちくぜん少年大使館※コスモスプラザ、めくばーからバスを用意しています。

参加費 500円(昼食代)

対象者 筑前町在住の65歳以上の人

定 員 35人

申込締切 5月26日(月)

※「ひとり暮らし高齢者のつどい」から変更し、実施します。



募集

在宅介護者リフレッシュ事業

「介護者のつどい」を開催します

障がい者(児)や高齢者を自宅で介護(育児)している家族(介護者)の心身のリフレッシュを図ることを目的に「介護者のつどい」を開催します。さわやかな陽気の中、リフレッシュしませんか。

日 程 5月20日(火) 10時～16時

行き先 八女伝統工芸館、大茶園

参加費 1,000円

対象者 障がい者(児)や高齢者を自宅で介護(育児)している家族

定 員 20人(10人に満たない場合は開催しません)

※要介護者の要介護認定、障害者手帳の有無は問いません。

申込締切 5月15日(木)



お申込みは、電話(0946-42-4555)、窓口等にてお願いします。

心配ごと相談

日常的な悩みや困りごとなどを相談する窓口を開設し問題解決の手助けを行います。

日にち 5月 2日・16日

6月 6日・20日

7月 4日・18日

場 所 コスモスプラザ保健館
会議室6

障がい相談

障がいに関する多様な相談に、障害者相談支援専門員が応じます。

日にち 5月 2日・16日

6月 6日・20日

7月 4日・18日

場 所 コスモスプラザ福祉館
会議室7

毎月第1・第3金曜日 13時30分から16時まで ●秘密はかたく守りますので、気軽にご相談ください。

報告

在宅介護者リフレッシュ事業「第3回 介護者のつどい」を開催しました

2月25日(火)に健康運動士&笑いヨガティーチャーの佐藤昌久先生を迎え、「笑いヨガでリフレッシュ〜つくり笑いから始めよう〜」の講座を行いました。

講座は「笑い」に包まれた内容で、「久しぶりに笑った」「考え方が前向きになった」と参加者のみなさんは楽しく過ごされていました。

講座後は座談会を行いました。日頃の介護状況等を話すことで、「一緒に頑張る仲間がいることが嬉しい」「自分を出せる時間だった」と、交流を深めることができました。



報告

こども食堂を開催しました

3月26日(水)、4月2日(水)に、たくさんの人にこども食堂を知ってもらい、今後地域に広げて行くために子ども食堂 食・遊・和「ほとめき」との共催でコスモスプラザにて行いました。

多くのこどもたちが参加し、楽しい声が響きわたり、「みんなで食べて楽しかった」「友達ができた」など、とても喜んでいました。

また、ボランティアも多くの方が参加され、こども食堂に触れることで「このような場は必要だと思った」「やってみたいという気持ちが強くなった」と今後の活動への意欲に繋がっていました。

こどもたちの居場所となるこども食堂が地域とつながる応援を今後も行っていきます。



報告

筑前町ボランティア連絡協議会(=ボラ連)活動報告

2月1日(土)開催「(第1部)ボランティアのつどい・(第2部)交流会」

20周年を迎えるボラ連は、音楽を通して地域や人とのつながりを大切に「ともに生きる」という目的で盛大に開催しました。

第1部は、約190人の来場者があり、開会行事をはじめ、ボラ連20年間の活動報告があり、活動や人を懐かしむ声が多く聴こえてきました。その後、全国で活躍している福岡市内の事業所「JOY倶楽部ミュージックアンサンブル」のみなさんを迎えて音楽演奏会が行われました。演奏では、世代を超えて愛される名曲からオリジナル曲「みんなでタッチ」など8曲の演奏に、口ずさんだり、隣の人と手と手をタッチし合ったりと、会場全体が1つになり、笑顔があふれるあたたかな雰囲気に包まれていました。

第2部は、ボラ連会員、JOY倶楽部、関係者等約70人がつどい、交流が行われました。第1部の感想や思いを伝え合ったり、会員からは、今後の活動目標を発表したり、前向きで元気になる時間となっていました。



福岡県共同募金会筑前町支会からのお知らせ

令和6年能登豪雨災害義援金の報告とお礼

町民のみなさまの温かいご協力により、6,002円の義援金が集まり、石川県共同募金会へ送金しました。ご協力ありがとうございました。義援金の配分については、石川県災害義援金配分委員会により配分基準等を決定し、各市町を通じて被災者の皆様にお届けされます。

災害義援金の募集

この度、大船渡市赤崎町林野火災により被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、令和6年能登半島地震で被災された皆様にも心からお見舞い申し上げます。

本会では、被災された方々を支援することを目的に義援金を募集しています。

令和6年度中に能登半島地震災害義援金を募集したところ、52,166円の募金が集まり、石川県共同募金会へ送金させていただきました。今も復興に向けて支援が必要な状況です。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年能登半島地震 災害義援金(石川県)

受付締切 令和7年12月24日(水)

送金先 社会福祉法人
中央共同募金会

大船渡市赤崎町林野火災による 災害義援金(岩手県)

受付締切 令和7年6月26日(木)

送金先 社会福祉法人
岩手県共同募金会

※義援金はコスモスプラザ福祉館(社会福祉協議会入口募金箱、窓口)にて受け付けています。

東小田小学校からの募金協力へのお礼

総合的な学習の時間で「ふくし」を学んだ児童のみなさんが、能登半島地震や豪雨で被災された方々に何かできることはないかと考え、募金をしてくれた人へのお礼として、しおりを作り、募金への協力をしてくれました。

児童のみなさんの温かい気持ちのおかげで、4,400円の募金が集まりました。ありがとうございました。



手作りのしおり

お詫びと訂正 共同募金だより(令和7年3月1日発行)の記事に誤りがありましたので、訂正いたします。

訂正箇所 5 ページ1 段目 (誤) 太陽シルバー(株) (正) 太陽シルバーサービス(株)
読者の皆様ならびに企業様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

新入職員紹介

新しい仲間が入職しました
よろしくお願いいたします



総務・総合相談係
しげのぶ まな
重信 菜南



総合相談係
ひでさき さき
秀崎 早紀



総務・総合相談係
みやはら えいじ
宮原 栄滋

退職

●総務・総合相談係
浦 多恵(3月31日退職)

●総合相談係
檜橋 優(3月31日退職)

支えあいだより

Vol.8
10/10/10

子ども食堂 食・遊・和 **ほとめき**

中牟田校区を対象に、毎月第4土曜日10:00から、中牟田村公民館で子ども食堂が開催されています。



いただいた寄付を活用した手作りの食事を楽しみに、こどもたちが集まり、楽しく過ごしています。

「かせし隊」募集！

社協では日常生活のちょっとしたお手伝いをする「住民参加型有償生活支援サービス事業」を行っています。

地域住民で結成された「かせし隊」が、買い物やゴミ出し等のお手伝いを行っています。

かせし隊の流れ

①社協にて申し込み

特定講習の受講が必要です。

②依頼を受ける

社協から連絡を行います。

③サービス実施

活動中の保険は加入します。(社協負担)

④ポイント獲得

⑤ポイント交換

社協にて行います。

現在33人が登録していますが、地域によってはマッチングできない状況も出ています。

お住まいの地域で活動できる方がいらっしゃいましたらご連絡ください。(講習は随時行っています。)

Vol.7 支えあいだよりで掲載の「筑前町囲碁愛好会」の記事に誤りがありました。
●めくばり館 水・木・土
9:30~16:30で行っています。

ご寄付ありがとうございました。

(令和6年12月1日~令和7年3月31日)

香典
寄付

48件
783,000円

一般
寄付

行武 須磨子 様
10,000円

※皆様からいただきました心温かいご寄付は、筑前町の社会福祉のため、有効に活用させていただきます。



社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会
<https://www.chikuzen-shakyo.or.jp/>

〒838-0215
福岡県朝倉郡筑前町篠隈373 コスモスプラザ福祉館内
TEL 0946-42-4555 FAX 0946-42-5941